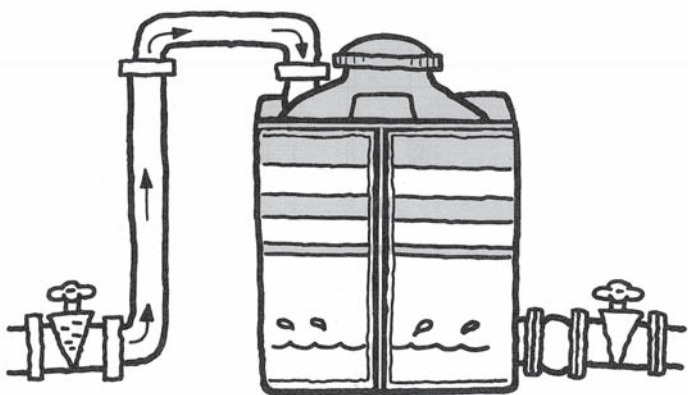


1 水張りテスト

タンクの据付けに必要な部品の組立て、配管は終わりましたでしょうか。今一度、タンク据付け上の注意事項を取扱説明書で再確認の上次の手順にお進み下さい。

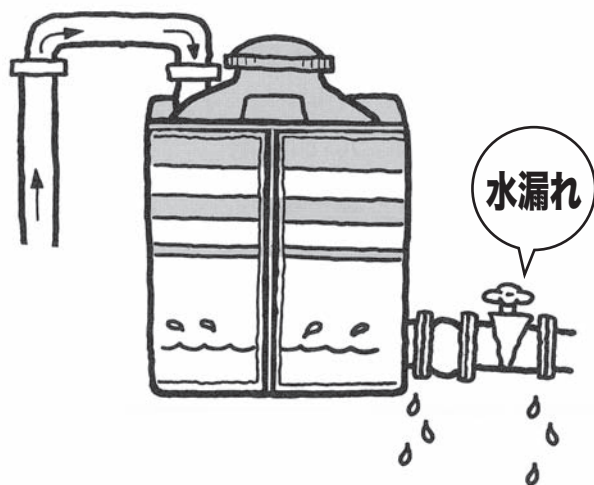
尚、疑問点やご不明な内容がありましたら当社営業部にお問い合わせ下さい。

配管が完了した時点で必ず水張りテストを行い、フィッティング接続部、その他から水漏れが無いことを確認して下さい。



水張りテストに使用した水は完全に除去し、拭き取った後使用して下さい。薬品によっては(特に硫酸などは)、残っている水と反応して発熱を起こし、タンクが変形、あるいは溶けて穴があくなどの大事故につながる可能性があります。

水漏れが発生した場合、パッキン部分か、ネジ部分が発生箇所を確認し、増締め等の処置を行って下さい。水漏れが止まらない場合は当社営業部にご相談下さい。



2 最高使用温度 エア抜き

■最高使用温度

最高使用温度は水を基準としておりますので、実際の使用に際しましてはポリエチレンの耐薬品性表でご確認下さい。

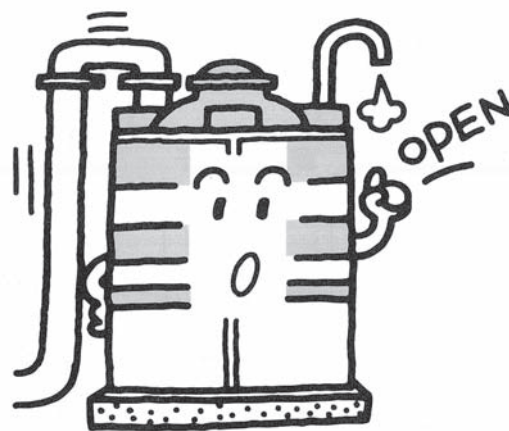


- 補強枠タンク.....60℃
- ポリエチレン単体タンク.....40℃

一般に希釈する場合は、まずタンクに水を入れ、その後少量づつ薬液を注いでいきます。

■エア抜き

エア抜きは開放にしてタンクに加圧、減圧をかけないで下さい。密閉状態での加圧はタンクが膨らみ破壊に、また、減圧は天板の落ち込みや胴体のへこみなどの変形が起り破損の原因になります。



- 加圧..... 100mmH₂O
- 減圧..... 50mmH₂O

以上の圧力がかからないように配慮して下さい。